

1 1月8日（日） 祝福の流れを運ぶ

1 あなたの名は祝福

（創世記12：1～2） 主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民として、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。

（ヘブル11：8） 信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。

2 イエスは愛そのもの

（1ヨハネ4：8～10） 神は愛です。神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

（ルカ22：44） イエスは、苦しみもだえて、いよいよ切に祈られた。汗が血のしずくのように地に落ちた。

（ローマ5：5） この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

3 神の愛が最初

（ヨハネ13：37） ペテロはイエスに言った。「主よ。なぜ今はあなたについて行くことができないのですか。あなたのためには命も捨てます。」

（ヨハネ13：23） 弟子のひとりで、イエスが愛しておられた者が、イエスの右側で席に着いていた。

（1ヨハネ4：19） 私たちは愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。

4 聖霊によって溢れ流れる祝福

（ヨハネ16：7） しかし、わたしは真実を言います。わたしが去って行くことは、あなたがたにとって益なのです。それは、もしわたしが去って行かなければ、助け主があなたがたのところに来ないからです。しかし、もし行けば、わたしは助け主をあなたがたのところへ遣わします。

（詩篇23：5～6） 私の敵の前で、あなたは私のために食事を整え、私の頭に油を注いでくださいます。私の杯はあふれています。まことに、私の命の日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追ってくるでしょう。